

Photo by Atsushi ABE

第3回 種子・胞子・組織培養を 使った保全フォーラム

～ラン科植物を中心に～

2024年12月20日（金）13:30～16:30

共催：公益社団法人日本植物園協会

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室

会場：オンライン（Zoomミーティング） 定員100名 参加費無料

申込：<https://jabg.or.jp/news/post-3218/>



左のURL、または
上記QRコードから
お申込みください

本フォーラムは、環境省と日本植物園協会の「生物多様性保全の推進に関する基本協定」にもとづき開催します

第3回 種子・孢子・組織培養を使った 保全フォーラム

共催：公益社団法人日本植物園協会

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室

会場：オンライン（Zoomミーティング）定員100名 参加費無料

日時：令和6年12月20日（金）13:30～16:30

対象：植物園職員、植物保全に関心をお持ちの皆さま

<開催趣旨>

植物の生息域外保全において、種子・孢子・組織の保存・利用は、もっとも費用対効果の高い方法です。日本植物園協会は現在、環境省と連携して保存技術の改良を推進しています。また植物多様性保全拠点園ネットワークでは、各地の植物園等が連携・協力して絶滅危惧種の種子・孢子の収集を行い、種子保存拠点園が中心となり保存しています。しかしこれまでの各地の保全や野生復帰の取り組みにおいて、リソースはまだ十分に利用されていません。そこで今回は、**ランの種子保存と保全への利用、環境省と連携した保全事例**を取り上げ、全国の植物園で種子・孢子・組織を使った取り組みが活性化することをめざします。

<プログラム概要>

■13:30 開会 司会：高宮 知子（日本大学薬学部）
挨拶 日本植物園協会会長 西川 綾子
環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 福島 誠子

■13:40-14:00 テーマ① 日本植物園協会の種子保存事業
中村 剛（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園）

■14:00～ テーマ② ランの種子保存と保全への利用
平野 智也（宮崎大学農学部応用生物科学科）
徳原 憲（一般財団法人沖縄美ら島財団）
蘭光 健人（東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻）

■15:30～ テーマ③ 環境省・市民等と連携した取り組み
佐藤 裕之（一般財団法人沖縄美ら島財団）
久原 泰雅（新潟県立植物園）

■16:10～16:30 ディスカッション
進行：遊川 知久（国立科学博物館筑波実験植物園）



<お問い合わせ>

公益社団法人日本植物園協会 事務局

電話 03-5685-1431（平日10:00～17:00）

ホームページ <https://jabg.or.jp/>